


もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！	13- 2
こんな音が聞こえたときは！	13- 4
こんなことでお困りのときは！	13- 6
故障したときは！	13- 9
発炎筒を使うときは！	13-10
工具とジャッキ	13-10
ジャッキアップのしかた	13-12
スペアタイヤ	13-14
タイヤ交換のしかた	13-16
バッテリー上がりのときは！	13-20
オーバーヒートしたときは！	13-22
けん引	13-24
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！	13-26
バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！	13-27
ヒューズが切れたときは！	13-27
バルブ(電球)が切れたときは！	13-33



警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100877

ただちに安全な場所に停車し、最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-9
---	-------	--------

安全な場所に停車し、まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは、最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-8
	油圧警告灯	P. 6-9
A/T TEMP	A/T 油温警告灯	P. 6-10

13




安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。

再度エンジンをかけ、その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。

消灯しないときやたびたび点灯するときは、できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

	ABS 警告灯	P. 7-27
--	---------	---------

すぐに停車する必要はありませんが、できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

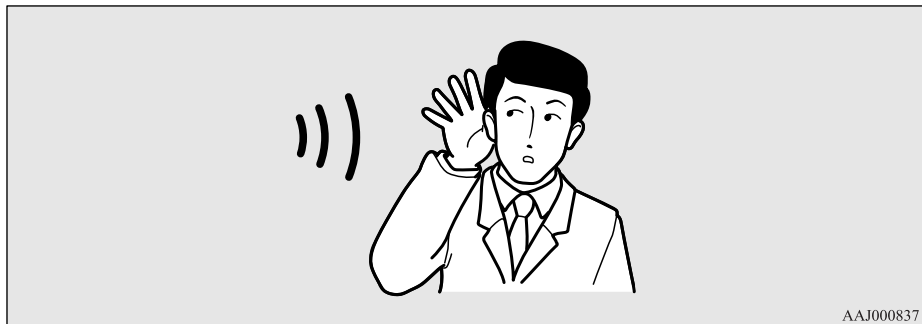
	SRSエアバッグ /前席プリテン ショナー警告灯	P. 5-21
	エンジン警告灯	P. 6-9
	ATシフトポジ ションインジ ケーター(点滅) (オートマチック 車)	P. 7-13

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト 警告灯	P. 5-12
	半ドア警告灯	P. 6-10
	燃料残量警告灯	P. 6-5

こんな音が聞こえたときは!

J01400200650



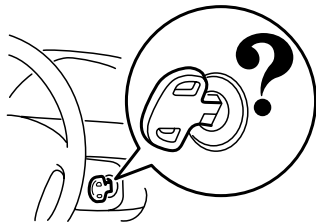

AAJ000837

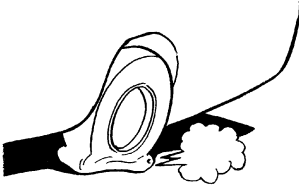
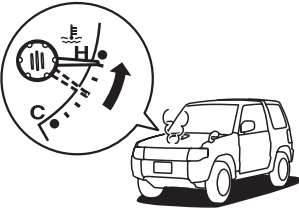
現象	処置
運転席ドアを開けたら断続的に音(ピピッ, ピピッ)がする。	「キー抜き忘れ防止機構」→ P. 4-6 キーを抜き忘れています。 エンジンスイッチからキーを抜くと、ブザーは止まりません。
運転席ドアを開けたら音(ピー)がする。	「ヘッドランプオートオフ機構(自動消灯)」→ P. 6-11 ライト類を消し忘れています。 ライト類が自動的に消灯し、ブザーは止まります。 (ただし、ライトスイッチをいったん○(OFF)位置から☺位置にするとライトは自動消灯せず、ドアを閉じるまでブザーは鳴り続けます。)
車を後退しようとしたら、断続的に音(ピーピー)がする。	「マニュアルトランスミッション」→ P. 7-11 「セレクトレバーの位置・働き」→ P. 7-14 シフトレバーまたはセレクトレバーがⒺに入っています。 後退後、レバーの位置を変えればブザーは止まります。
走行中、ブレーキを踏むとタイヤのブレーキ付近から金属摩擦音(キーキー)が鳴る。	「ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは!」→ P. 13-26 ブレーキパッドが使用限度近くまで摩耗しています。 日産販売会社でブレーキパッドを点検してください。

現象	処置
<ul style="list-style-type: none">● エンジンスイッチを ON にしたとき、音(ピピッ, ピピッ)がする。● 走行中に、音(ピピッ, ピピッ)がする。	<p>「シートベルト警告」→ P. 5-12</p> <p>運転者にシートベルトの着用を促しています。シートベルトを着用するとブザーは止まります。</p>

こんなことでお困りのときは!

J01400301401

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-11
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一、走行中にエンストしたときは」→ P. 2-13
キーが回らない。 	LOCKからACCに回らない ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 ACCからLOCKに回らない [オートマチック車] セレクトレバーがPに入っているか確認してください。 [マニュアル車] ACCの位置でキーを押しながら、LOCKまで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-8
セレクトレバーがPから動かない。(オートマチック車)	ブレーキペダルを踏んでからセレクトレバーを操作してください。エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクトレバーの動かし方」→ P. 7-12
雨の日、湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」 → P. 9-10

現象	処置
<p>パンクした。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. あわてずに、ハンドルをしっかり持ち、安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-16
<p>エンジンがかからない。 ライトが点灯しない、暗い。 ホーンが鳴らない、音が小さい。</p>	<p>バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-20</p>
<p>水温計の針が「H」表示部に近づいていたり、エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。</p> 	<p>オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-22</p>

現象	処置
<p>タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)</p>	<p>スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1. 毛布か布などがあるときは、それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. トランスファーシフトレバーを「4H」または「4L」に切り換えます。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進します。 <p>● 何も滑り止めにするものがないときは、前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。</p>

⚠ 注意

<ul style="list-style-type: none"> ● 車の反動を利用して脱出するときは、車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。 ● ぬかるみなどにはまったときは、むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み、かえて脱出しにくくなります。また、エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは、専門業者に依頼してください。
--

現象	処置
<p>オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。</p>	<p>オートマチックトランスミッションに異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの日産販売会社まで運転し、点検を受けてください。</p> <p>発進しにくいときは②に入れて発進し、その後は①に戻して走行してください。 (故障の内容によってはこの方法でも効果がない場合もあります。)</p>

故障したときは！

J01400400711

故障して動けなくなったときは、同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押して移動します。
このとき、シフトレバー（セレクトレバー）をNに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで、すぐに車を動かせないときは、すみやかに同乗者を避難させ、踏切の非常ボタンを押します。

⚠ 注意

- 電車が近づいているときや、緊急を要するときは、発炎筒で合図してください。

📖 アドバイス

- マニュアル車、オートマチック車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため、車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板（停止表示灯）などで故障表示します。

高速道路、自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板（停止表示灯）を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず、路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

📖 アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）は標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

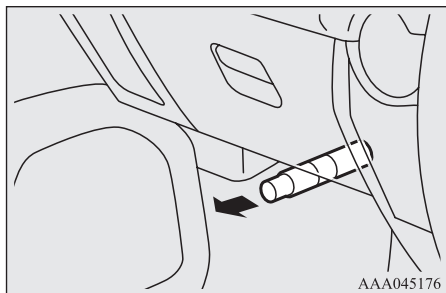
発炎筒を使うときは！

J01400500350

発炎筒は、高速道路や踏切などで故障したときに使用します。

使用したときや期限切れのときは、日産販売会社などでお買い求めください。

発炎筒は、助手席足元に備えつけてあります。



⚠警告

- お子様には、発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり、重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

📖アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-14
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600670

⚠注意

- ジャッキは、タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは、お客さまのお車専用です。他の車両に使用したり、他の車両のジャッキをお客さまのお車に使用しないでください。車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

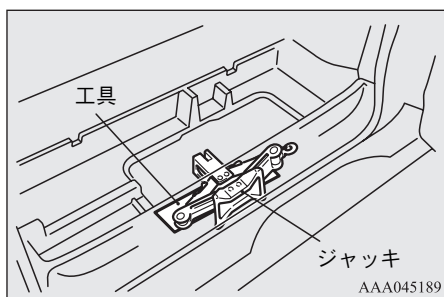
📖アドバイス

- 工具の種類、ジャッキの使い方は、万のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405900169

ラゲッジルームに格納されています。

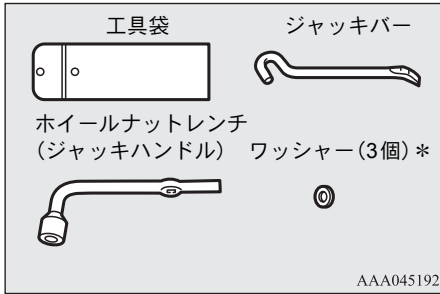


⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は、元の位置に確実に格納してください。室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300444



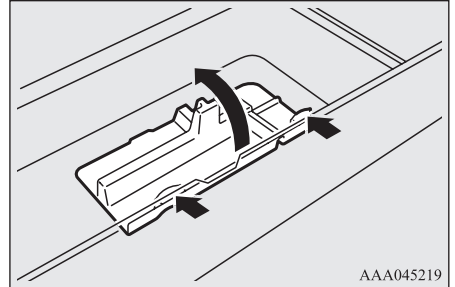
* : スペアタイヤハンガーにアルミホイールを取り付ける際に使用します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16

ジャッキの脱着

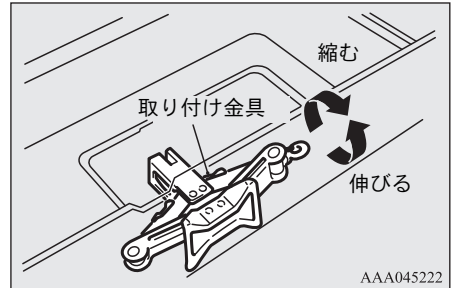
J01404200645

◆ 取り出すときは

1. ラゲッジアンダートレイ内のリッドを前方に押し引き上げます。



2. ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します



◆ 格納するとき

1. ジャッキを縮めてから元の位置に戻します。
2. ジャッキを伸ばして取り付け金具に固定します。
3. ラゲッジアンダートレイ内のリッドを元の位置に戻します。

📖 アドバイス

- ジャッキを取り付けるときは、ジャッキのフックを車体側の取り付け金具に引っかかるように取り付けてください。

ジャッキアップのしかた

J01400701434

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- ジャッキアップするときは安全のため、つぎのことを必ず守ってください。万一の場合、ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・エンジンをかけたままにしない。
 - ・人や荷物を乗せたままにしない。
 - ・地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
 - ・凍結した路面では使用しない。
 - ・ジャッキの上や下に物を挟まない。
 - ・ジャッキアップ中に車をゆすらない。
 - ・ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
 - ・ジャッキアップしたまま放置しない。

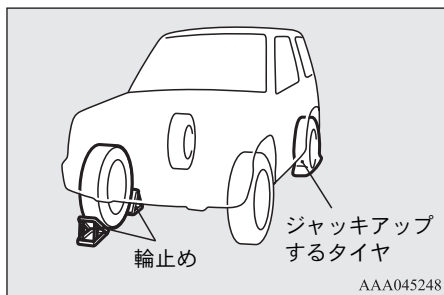
1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけます。

3. マニュアル車はエンジンを止めて、シフトレバーを**Ⓔ**に入れます。オートマチック車はセレクトレバーを**Ⓕ**に入れて、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板（停止表示灯）を車両後方に置きます。

📖アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠注意

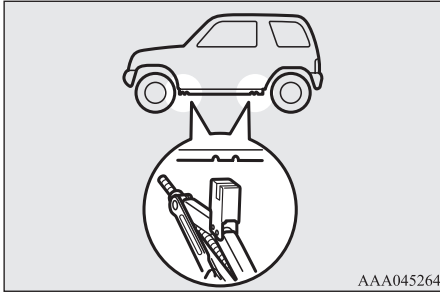
- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖アドバイス

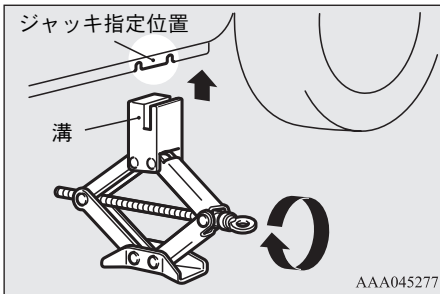
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. 工具とジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10

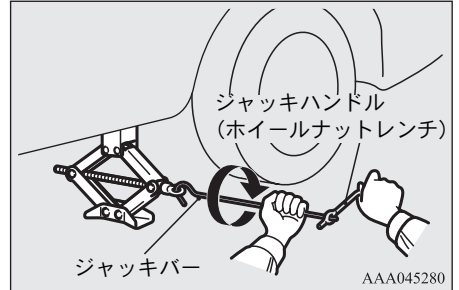
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。



8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで、ジャッキを手で右に回して上げます。



9. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み、タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。



⚠ 注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

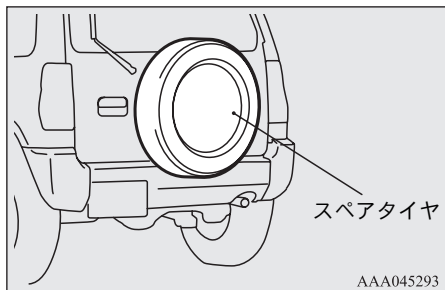
- ジャッキ頭部の溝は、指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると、車体がへこんだり、ジャッキが倒れて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

スペアタイヤ

J01400801031

格納場所

スペアタイヤは、バックドアに取り付けてあります。



⚠ 注意

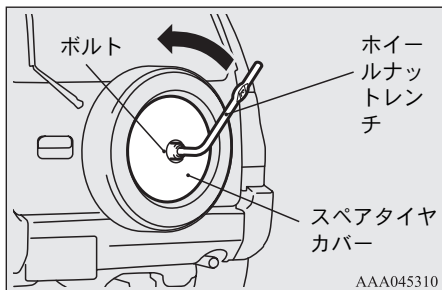
- タイヤを降ろすときおよび取り付けるときは、タイヤをしっかりと持ってください。
- ホイールの穴などに手をかけると、エッジでけがをするおそれがありますので手袋などをご使用ください。
- ボルトやナットをゆるめたり締め付けたりするときは、ホイールナットレンチとホイールの間に指を挟まないように注意してください。
- スペアタイヤの空気圧は、定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足している場合は、最寄りの日産販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し、指定の空気圧に調整してください。
→ 「タイヤの空気圧」P. 14-9

📖 アドバイス

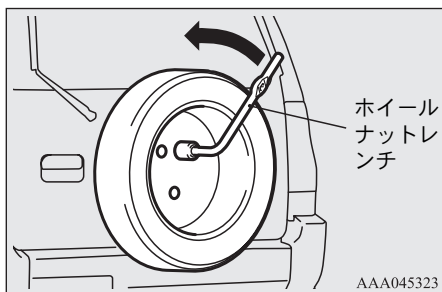
- スペアタイヤに足をかけないでください。

取り外すときは

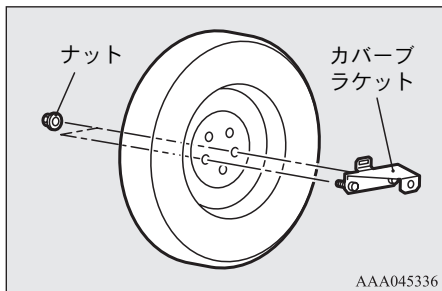
1. スペアタイヤカバーをホイールナットレンチでボルトをゆるめて取り外します。



2. ホイールナットレンチでボルトをゆるめて外し、スペアタイヤを取り外します。

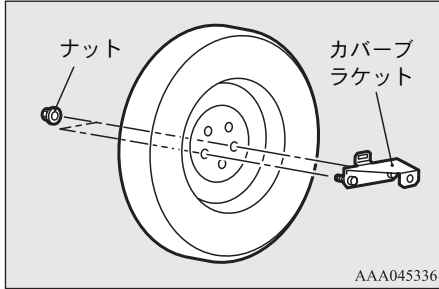


3. カバーブラケットをホイールナットレンチでナットをゆるめて取り外します。

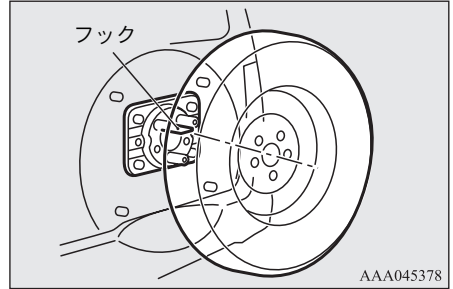


取り付けるときは

1. スペアタイヤの裏側にカバーブラケットをセットし、表側からホイールナットレンチでナットを確実に締め付けます。



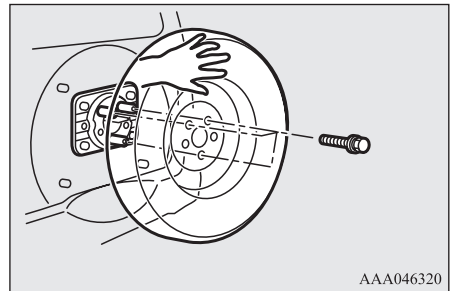
2. スペアタイヤを裏側にし、スペアタイヤハンガーのフックにかけます。



3. スペアタイヤを上へ持ち上げながら、ホイールの穴とスペアタイヤハンガーの位置を合わせ、ホイールナットレンチでボルトを確実に締め付けます。

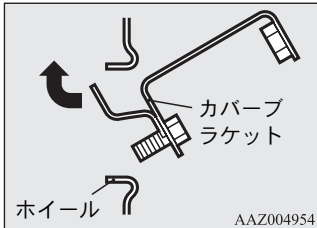
締め付けトルク： 32~48N・m
(3.3~4.9kgf・m)

(車載のホイールナットレンチの先端で
130~180N {13~18kgf}の力)



📖 アドバイス

- カバーブラケットを取り付けるときは、先端を先に差し込んでから取り付けます。



⚠️ 注意

- タイヤを取り付けるときは、足の上などに落とさないように注意して作業してください。

4. スペアタイヤカバーを取り外すときと逆の手順で取り付けます。
ボルトは確実に締め付けてください。

タイヤ交換のしかた

J01400901524

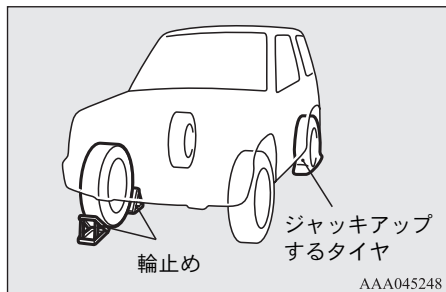
タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて、シフトレバーを**⑥**に入れます。
オートマチック車はセレクトレバーを**⑤**に入れて、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板（停止表示灯）を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠ 注意

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。
万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

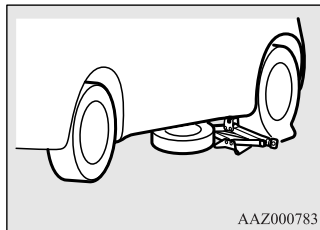
📖 アドバイス

- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. 工具、ジャッキを取り出し、スペアタイヤを取り外します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10
→「スペアタイヤ」P. 13-14

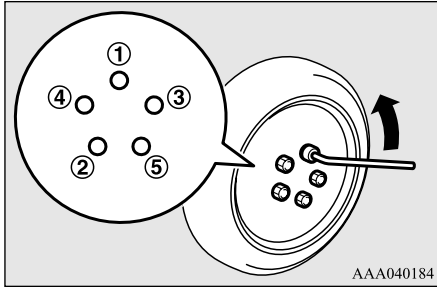
📖 アドバイス

- 取り外したスペアタイヤは、万一ジャッキが外れたときのため、ジャッキ近くの車体の下に置いてください。



7. アルミホイール付き車は、センターキャップを取り外します。
→「センターキャップ」P. 13-19
8. ジャッキアップするタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップのしかた」P. 13-12

9. ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に、手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



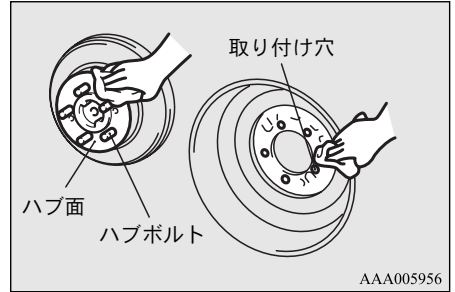
10. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
 11. ホイールナットを外し、タイヤを取り外します。

📖 アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

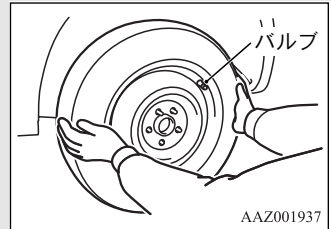
1. ハブ面、ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

⚠️ 警告

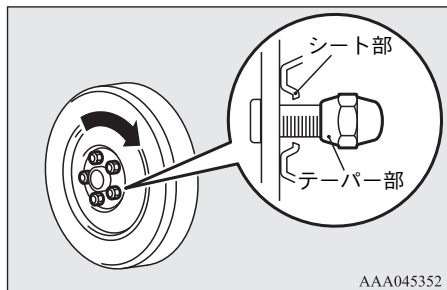
- タイヤを取り付けるときは、タイヤの裏表に注意し、バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けの際、バルブが見えなければ、タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると、車両に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

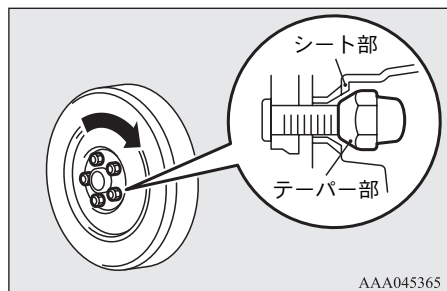
ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

スチールホイール付き車



AAA045352

アルミホイール付き車

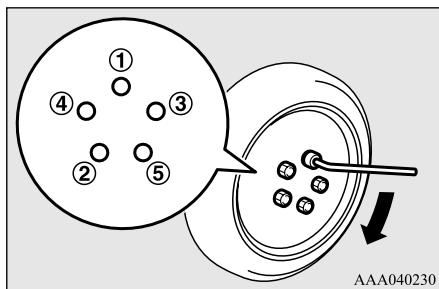


AAA045365

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし、ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に2~3回に分けて、徐々に締め付けます。最後の締め付けは、確実に行ってください。

締め付けトルク：88~108N・m
{9~11kgf・m}

(車載のホイールナットレンチの先端で350~420N {35~42kgf}の力)



AAA040230

⚠ 注意

- ホイールナットを締め付けるときは、ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締め付けしないでください。

5. アルミホイール付き車は、センターキャップを取り付けます。

→ 「センターキャップ」 P. 13-19

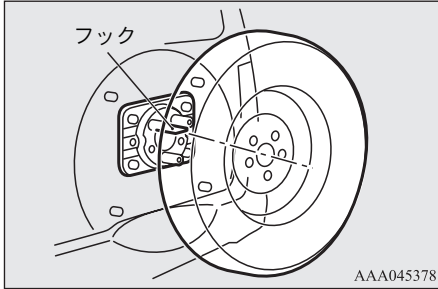
6. タイヤの空気圧を点検します。

→ 「タイヤの空気圧」 P. 14-9

⚠ 注意

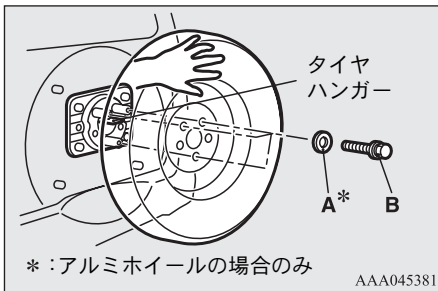
- ハブボルト、ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。必要以上に締め付けられてボルトが破損したり、ホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

7. 交換したタイヤを裏側にし、スペアタイヤハンガーのフックにかけます。



8. 交換したタイヤを上へ持ち上げながら、ホイールの穴とスペアタイヤハンガーの位置を合わせ、ワッシャー (A) とボルト(B)を取り付け、ホイールナットレンチで確実に締め付けます。

締め付けトルク： 32~48N・m
 {3.3~4.9kgf・m}
 (車載のホイールナットレンチの先端で
 130~180N {13~18kgf}の力)



⚠ 注意

- アルミホイールを装着する場合は、工具袋の中にあるワッシャーを使用してください。

9. 工具、ジャッキを元の位置へ戻します。

→ 「格納場所」 P. 13-10

⚠ 注意

- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動がでたときは、日産販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。

📖 アドバイス

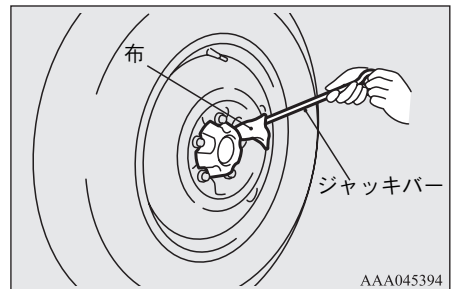
- タイヤ交換したときは、約 1,000km 走行後、再度ホイールナットを締め付けて、ゆるみがないことを点検してください。

センターキャップ

J01402900039

◆ 取り外すときは

工具袋の中のジャッキバーの先に布をかぶせてホイールとセンターキャップの間に差し込み、こじてセンターキャップを取り外します。



◆ 取り付けるときは

センターキャップを手でたたき取り付けます。

バッテリー上がりのときは！

J01401001128

つぎのような状態をバッテリー上がりといえます。

- スターターが回らない。または、回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または、点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または、鳴ってもいつもより音が小さい。



ブースターケーブル（別売）を使用し、他車のバッテリーを電源として、エンジンをかけることができます。

⚠ 警告

- 救援車を依頼し、ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは、取扱説明書に従って正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると、引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

📖 アドバイス

- ブースターケーブルは、日産販売会社などで買い求めください。

1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠ 注意

- 救援車は必ず12Vで、自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車のパーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーを**N**、オートマチック車はセレクトレバーを**P**に入れ、エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠ 警告

- ブースターケーブルの接続時は、救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて、けがをすることがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後、冷却水の温度により回転、停止をくり返します。エンジン運転中は、ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

⚠ 警告

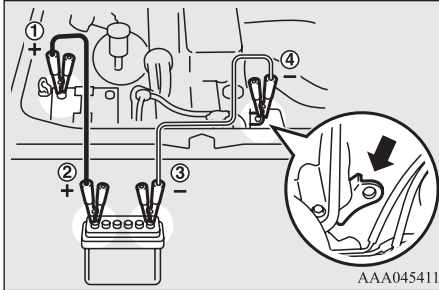
- バッテリー液量が下限 (LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり、発熱や爆発するおそれがあります。

📖 アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。

- ① 自車のバッテリーの+端子
- ② 救援車のバッテリーの+端子
- ③ 救援車のバッテリーの-端子
- ④ 図で指示の箇所（アースをとる）



AAA045411

⚠ 警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの-端子に直接つなぐと、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときには、+と-端子を接触させないでください。火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

- ブースターケーブルのクリップは、確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると、ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- バッテリーの+端子は、カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

📖 アドバイス

- ブースターケーブルは、バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後、救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら、ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや日産販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠ 警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は、引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは、バッテリーに接続されている車両側の-端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており、爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは、換気を十分に行ってください。
- 充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。

⚠ 注意

- 押しがけやけん引により、エンジンをかけることは行わないでください。特にオートマチック車は、マニュアル車と構造が異なるため、この方法ではエンジンはかかりません。

📖 アドバイス

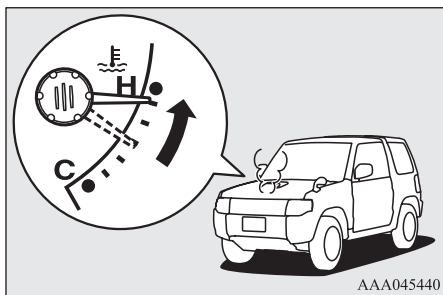
- 充電が不十分のまま車を発進させると、エンジンの回転むらが生じ、ABS 警告灯が点灯することがあります。
→ 「走行中に警告灯が点灯したときは」 P. 7-27

オーバーヒートしたときは！

J01401101002

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり、エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



AAA045440

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

[蒸気が出ていないとき]

エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け、風通しをよくします。

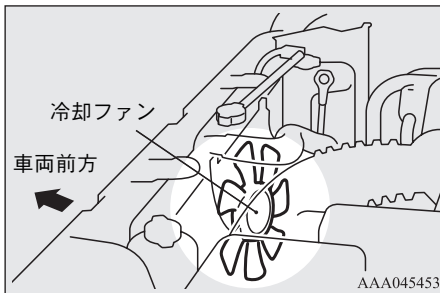
[蒸気が出ているとき]

エンジンを止め、蒸気が出なくなったら、風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け、エンジンをかけます。

警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも、熱湯が噴き出していたり、高温になっている部分がありますので、エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。



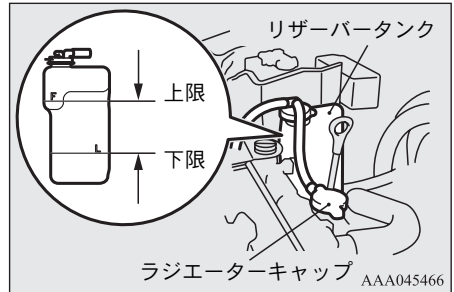
警告

- 冷却ファンに、手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

アドバイス

- ファンが作動していないときは、エンジンを止めて自然冷却します。その後、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

4. 水温計の指針が下がってきたら、エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから冷却水の有無を点検します。



警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。冷却水には圧力がかかっているため、冷却水の温度が高いときにキャップを外すと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401201029

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

つぎの場合は、日産販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

また、車輪が溝などにおちたときは無理にけん引せず、日産販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

⚠ 注意

- 必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。また、4WD（4輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。駆動装置が損傷したり、車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや、駆動系部品が故障したと思われるとき（車輪が動かない、異音がするなど）は、必ず4輪を持ち上げてけん引してください。
- オートマチック車で、駆動輪（後輪）を接地してけん引するときの速度は30km/h以下、けん引する距離は30km以内にしてください。この速度、距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

📖 アドバイス

- レッカー車による搬送は、別冊の「メンテナンスノート」を見て日産販売会社へ依頼してください。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらおうときは、つぎの要領で行ってください。

他車にけん引してもらおうとき

J01403901033

⚠ 注意

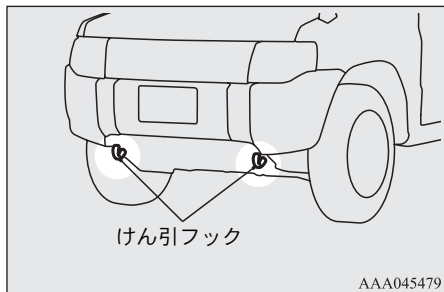
- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。

📖 アドバイス

- ワイヤロープや金属製のチェーンなどを使用すると、車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは日産販売会社などで買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると、車体を傷つけるおそれがあります。

前方へけん引してもらおうとき

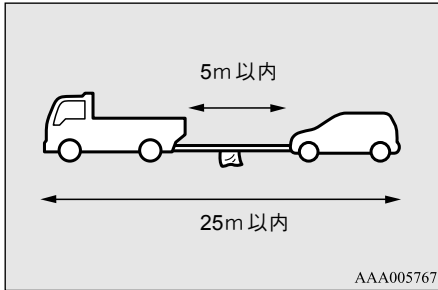
1. けん引ロープをけん引フックにかけます。



📖 アドバイス

- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて斜めけん引とにならないようにしてください。

- 2.けん引ロープには、30cm 平方（タテ 30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



- 3.エンジンはできるだけかけておいてください。
エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを ACC または ON にします。

警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。

注意

- エンジンスイッチが LOCK 位置にあると、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。

- 4.シフトレバー（セレクトレバー）を **N** に入れます。
5.トランスファーシフトレバーを「2H」に切り換えます。
→「トランスファーシフトレバー」P. 7-19

- 6.後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-14

警告

- けん引される車のエアコンは、内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して、ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ、急発進、急旋回など、けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合、その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

注意

- けん引される車は、けん引車のブレーキランプに注意して、常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- オートマチック車をけん引するときの速度は 30 km/h 以下、けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度、距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！

J01401400271

エンジン回転数が不安定になったときは、つぎの方法でエンジンの初期調整操作を行ってください。

1. 安全な場所に車を止めます。
2. オートマチック車はセレクトレバーを **P** に、マニュアル車はシフトレバーを **N** に入れて、エンジンを止めます。
3. 再度、エンジンを始動します。
4. エアコンのすべての作動を停止します。
5. 水温計の中間近くで指針が安定するまで暖機運転します。
6. エンジンを一旦停止し、再度エンジンを始動します。
7. 約10分間アイドリングします。
8. エンジン回転数が安定すれば初期調整操作は終了です。

アドバイス

- エンジンの初期調整操作を行ってもエンジン回転数が安定しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズが切れたときは！

J01401500953

各種のランプが点灯しないときや、電気系統の装備が作動しないときは、ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し、切れているときは交換してください。

アドバイス

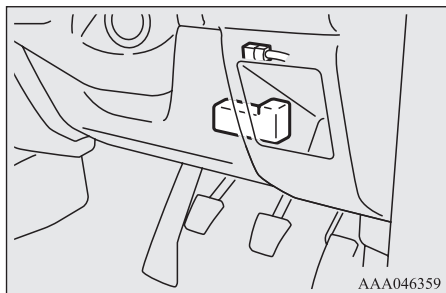
- 予備ヒューズは装備されておりません。日産販売会社などでお買い求めください。

ヒューズボックスの位置

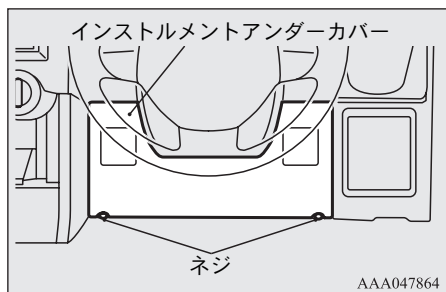
J01407500056

◆ 運転席足元

ヒューズボックスは図のように運転席足元に取り付けられています。



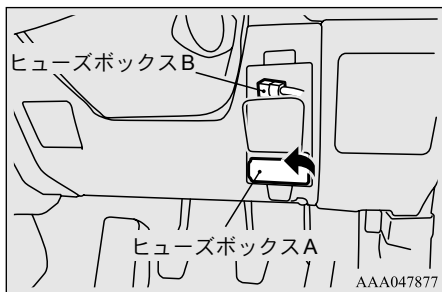
1. ネジ (2本) を取り、手前に引いてインストルメントアンダーカバーを取り外します。



📖 アドバイス

- インストルメントアンダーカバーにスイッチが付いている場合は、ツメを押しながらスイッチのコネクターを引き抜きます。

2. ヒューズボックスAはカバーを取り外します。
ヒューズボックスBはカバーを開けません



3. ヒューズを点検、交換したあと、ヒューズボックスのカバーとインストルメントアンダーカバーを戻すときは、逆の手順で取り付けます。

◆ エンジンルーム内

ツメを押し、ロックを外してカバーを取り外します。



ヒューズの交換

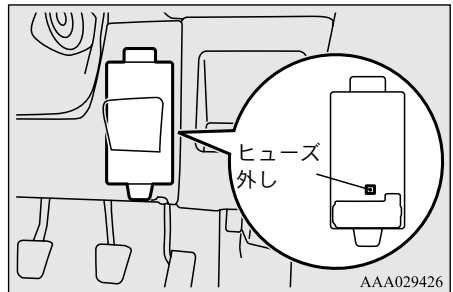
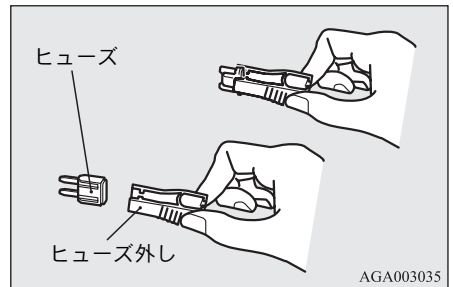
J01407600129

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-30

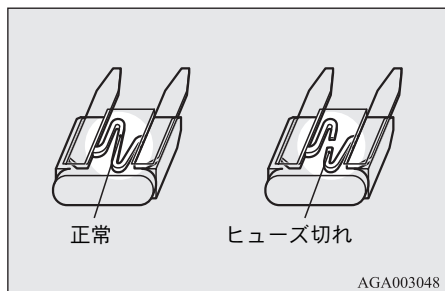
📖 アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は、ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは、運転席足元のヒューズボックスの上にあります。



4. ヒューズを点検し、切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。



警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると、電線の過熱により火災のおそれがあります。

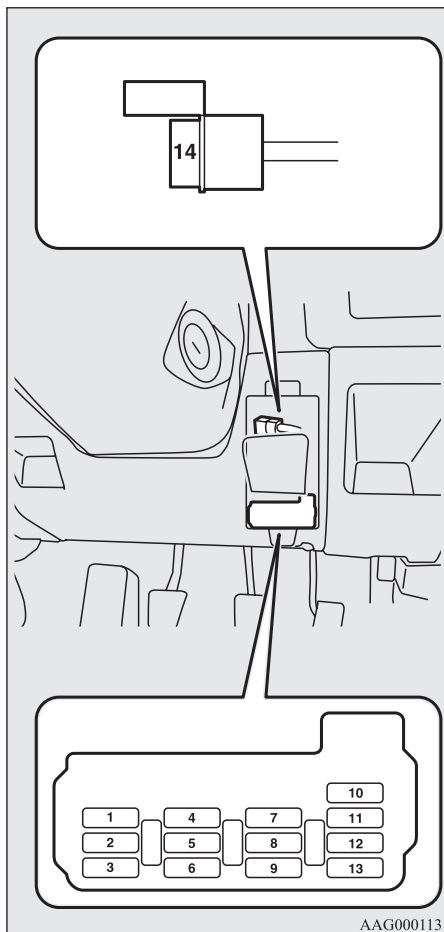
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701220

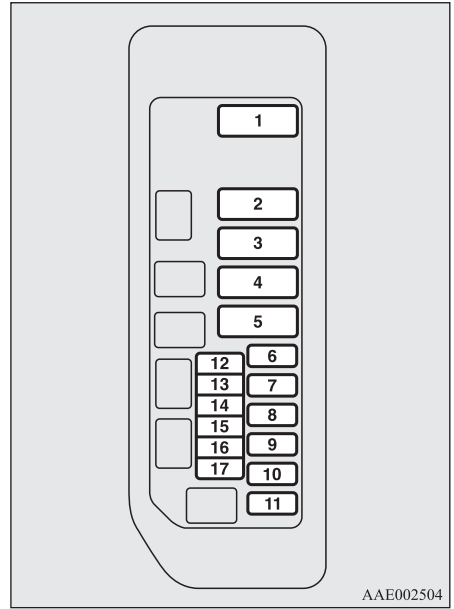
◆ 運転席足元



NO.	表示	装備	容量
1		ドアロック	15A
2		エレクトロニック コントロール ユニット	10A
3		ワイパー	15A
4		ヒーター	20A
5	—	—	—
6		デフォグガー	20A
7		電源ソケット	15A
8		後退灯(バック アップランプ)	10A
9		尾灯 (テールランプ)	10A
10		室内灯 (ルームランプ)	7.5A
11		コントロール ユニットリレー	10A
12		ラジオ	10A
13		メーター	10A
14	—	ヒーター付 ドアミラー	10A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

◆ エンジンルーム内



もしものときの処置

NO.	表示	装備	容量
1		ABS	60A
2		イグニッション スイッチ	40A
3		バッテリー	40A
4		ラジエーター ファンモーター	30A
5		パワーウインドウ	40A
6		フロント フォグラмп	15A
7		エアコン コンプレッサー	15A
8		非常点滅灯	10A
9		エンジン コントロール	20A
10	STOP	制動灯 (ストップランプ)	15A
11		室内灯 (ルームランプ)	10A
12		ホーン	15A
13		ヘッドライト (下向き) (左)	10A
14		ヘッドライト (下向き) (右)	10A
15		ヘッドライト (上向き) (左)	10A
16		ヘッドライト (上向き) (右)	10A
17		ホーン	10A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600882

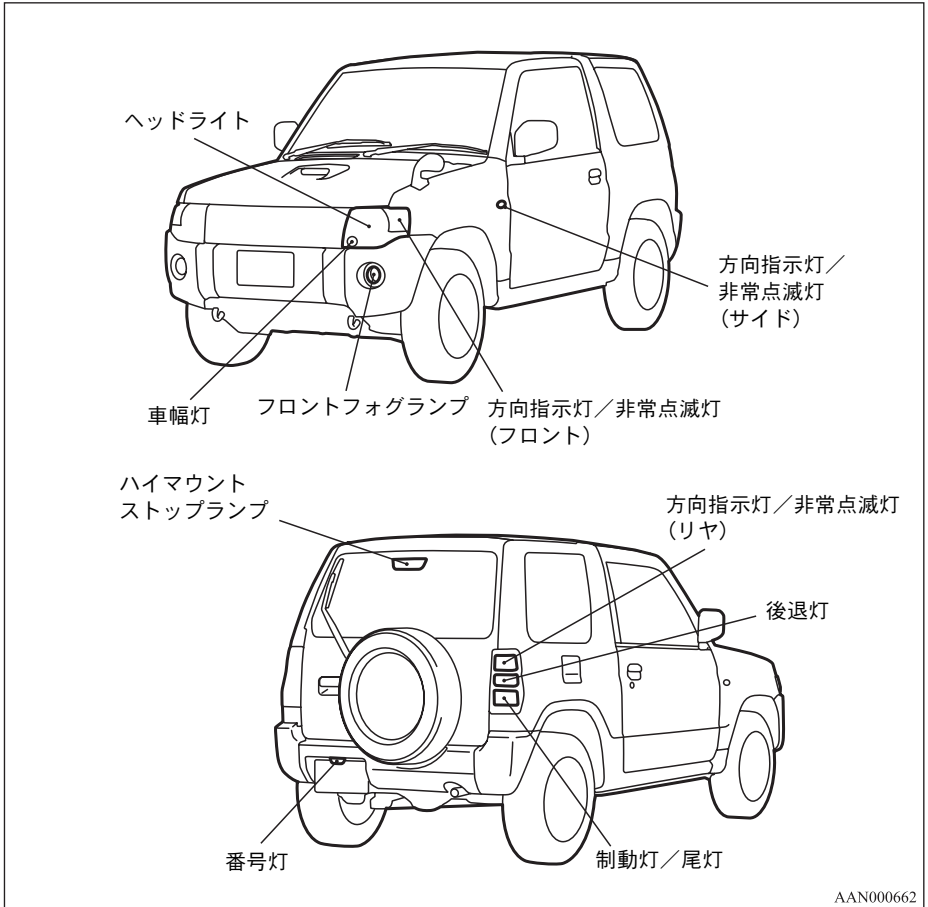
ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは、バルブ（電球）が切れているときがあります。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200056

◆ 車外照明

J01406800326



項目		ワット数(型式)
ヘッドライト	ハイビーム／ロービーム 〔ハロゲン球〕	60/55W (H4)
車幅灯		5W (W5W)
フロントフォグランプ		55W (H11)
制動灯／尾灯		21/5W (P21/5W)
後退灯		21W (P21W)
番号灯		5W (W5W)
方向指示灯	フロント	21W (WY21W)
	サイド	5W (W5W)
	リヤ	21W (PY21W)
ハイマウントストップランプ		16W (W16W)

●()内は電球（バルブ）の型式を示しています。

アドバイス

● 方向指示灯（サイド）の修理・バルブの交換は日産販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明

J01406300103

ルームランプ〔室内灯〕	8W
-------------	----

バルブ（電球）の交換

J01401700740

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については、日産販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして、エンジンスイッチを LOCK にします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P. 13-33

⚠ 注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

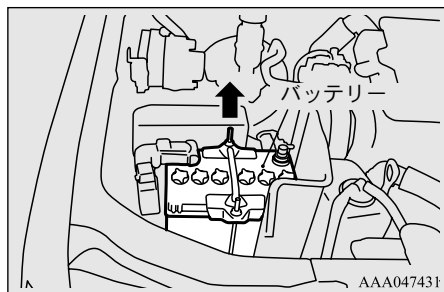
📖 アドバイス

- バルブを交換するときは、同じワット(W)数、同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
油などが付着すると、点灯したときの熱で蒸発して、レンズ内側が曇ることがあります。
バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて、油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは、車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は、ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに、レンズ内側が曇ることがあります。
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で、機能上の問題はありません。
ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
ただし、ランプ内に水がたまっているときは、日産販売会社で点検を受けてください。

◆ ヘッドライト

J01401901547

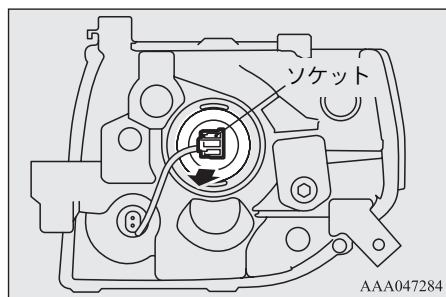
1. 運転席側のバルブを交換する場合は、作業スペースを確保するためバッテリーを取り外します。



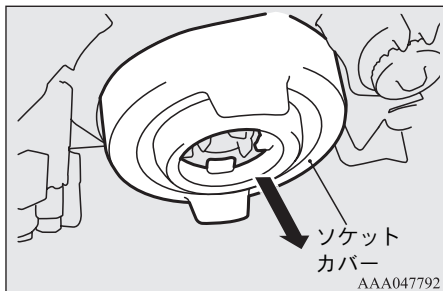
📖 アドバイス

- バッテリーを取り外すときは、－端子から先に外してください。

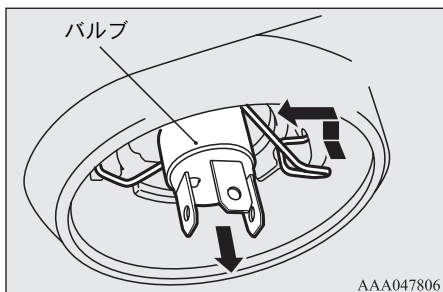
2. ヘッドライトバルブのソケットを引き抜きます。



3. ソケットカバーを外します。



4. 留め金を外し、矢印方向に引き起こしてバルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

⚠ 警告

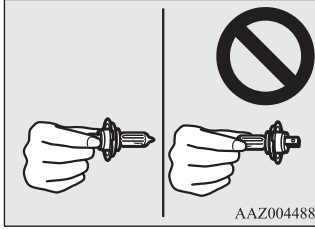
- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは、＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合、万一、＋端子が他部品に接触すると火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、落としたり、物をぶついたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠ 注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため、油などが付着すると、点灯したときの熱で破損するおそれがあります。バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて、油をふき取ってください。



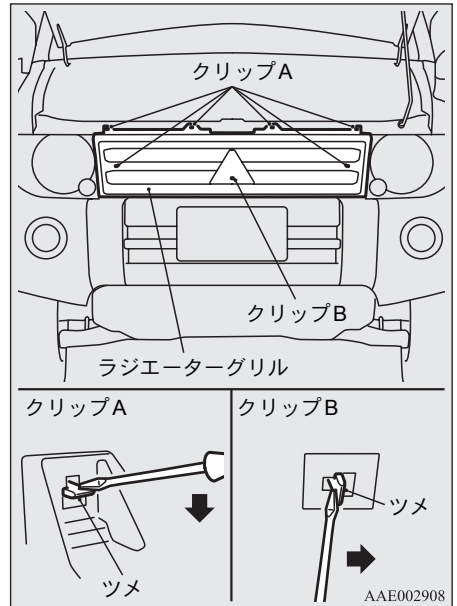
📖 アドバイス

- バッテリー取り外し後は、エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため、エンジン回転数が不安定になる場合があります。
エンジン回転数が不安定になったときは、エンジンの初期調整操作を行ってください。
→「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P.13-27
- バッテリー取り外し後は、お客さまが設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは、それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

◆ 車幅灯

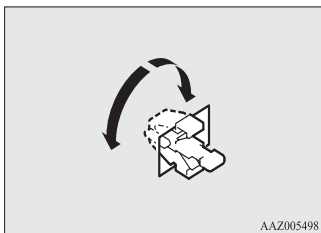
J01402000711

1. 作業スペースを確保するため、ラジエーターグリルを取り外します。
長めのマイナスドライバーなどを使い、クリップA（6箇所）はツメを下方方向に、クリップBはツメを右方向に押しながら、ラジエーターグリルを手前に軽く引いてクリップを外します。

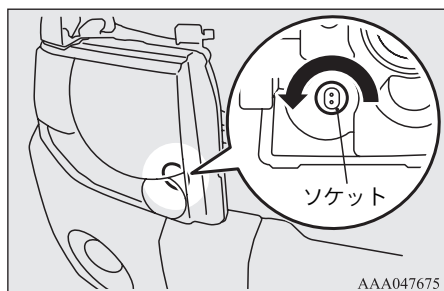


アドバイス

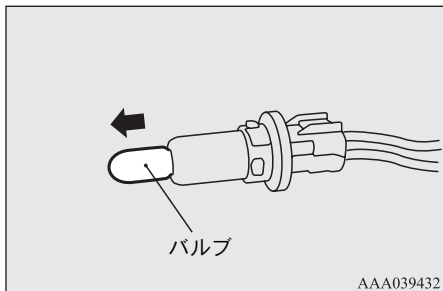
- クリップBを取り外すときは、懐中電灯などを使用すると、ツメの位置がわかりやすくなります。
- 車体側に残ったクリップ（7箇所）は左右どちらかに 90 度回転させて取り外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。

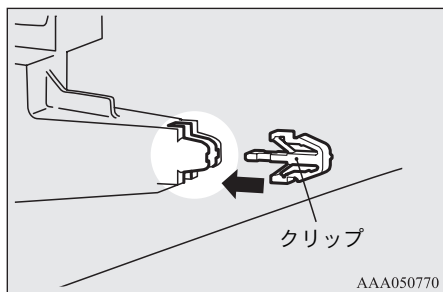


3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

ラジエーターグリルを取り付けるときは、はじめに車体側から外したクリップ（7箇所）をラジエーターグリルに取り付けます。

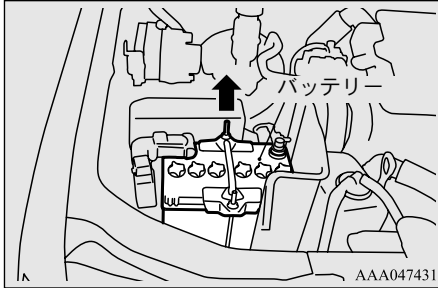


その後、クリップ部分をパチンと音が鳴るまで押さえつけて、車体に確実に取り付けます。

◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100640

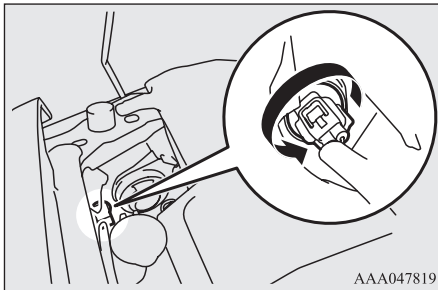
1. 運転席側のバルブを交換する場合は、作業スペースを確保するためバッテリーを取り外します。



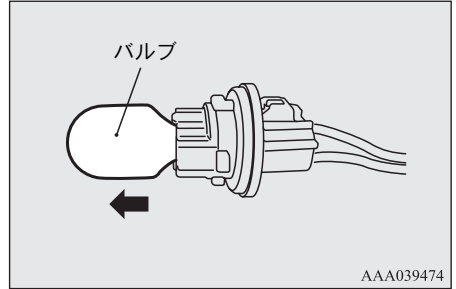
📖 アドバイス

- バッテリーを取り外すときは、－端子から先に外してください。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

⚠️ 警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは、＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合、万一、＋端子が他部品に接触すると火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。

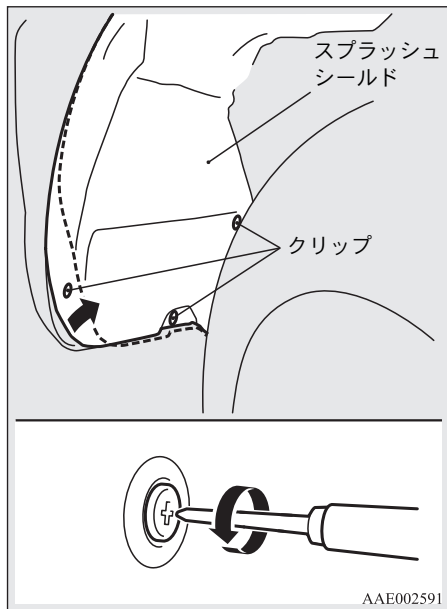
📖 アドバイス

- バッテリー取り外し後は、エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため、エンジン回転数が不安定になる場合があります。エンジン回転数が不安定になったときは、エンジンの初期調整操作を行ってください。
→「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは」P. 13-27
- バッテリー取り外し後は、お客さまが設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは、それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

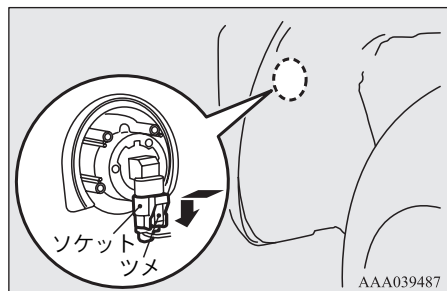
◆ フロントフォグランプ

J01403200752

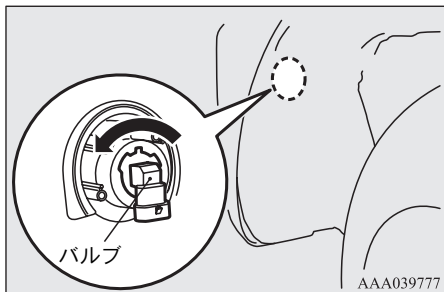
1. クリップ (3箇所) を図の要領で外し、スプラッシュシールドをめくります。



2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



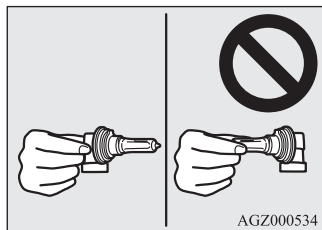
3. バルブを反時計回りに回して外します。




4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

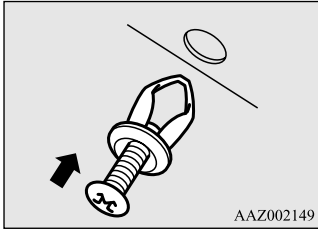
⚠ 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、落としたり、物をぶついたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため、油などが付着すると、点灯したときの熱で破損するおそれがあります。バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて、油をふき取ってください。




 **アドバイス**

- クリップを取り付けるときは図の状態
で穴に差し込み、押さえつけます。



◆ **方向指示灯（サイド）**

J01402200449

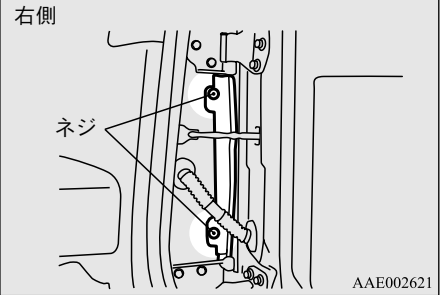
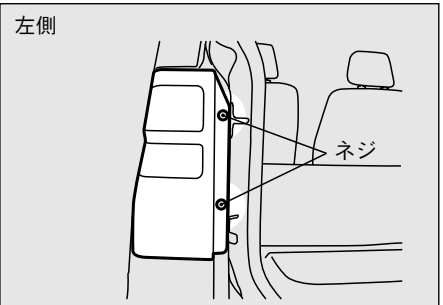
 **アドバイス**

- 方向指示灯（サイド）の修理・バルブの
交換は日産販売会社にご相談ください。

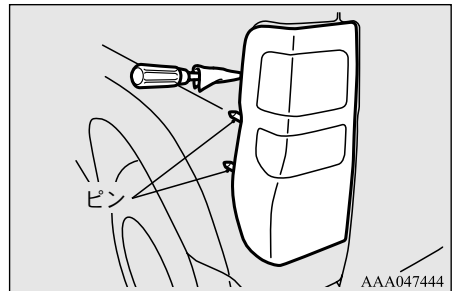
◆ **リヤコンビネーションランプ**

J01403000499

1. ネジ（2箇所）を外します。

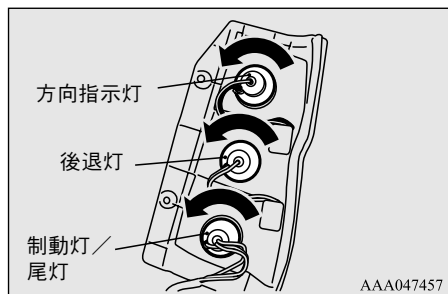


2. 先端に布をかぶせたマイナスドライ
バーなどをランプ本体と車体の隙間
に差し込み、こじて外します。

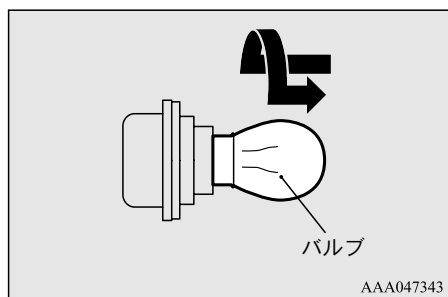


もしものときの処置

3. ソケットを反時計回りに回して外します。



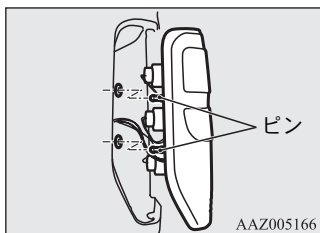
4. バルブを軽く押しながら反時計回りに回してソケットからバルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

📖 アドバイス

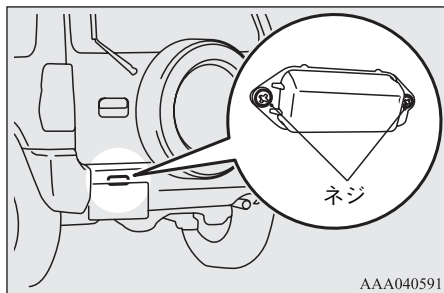
- ランプ本体を取り付ける際はランプ本体のピン（2箇所）を車体側の穴に合わせ、取り付けます。



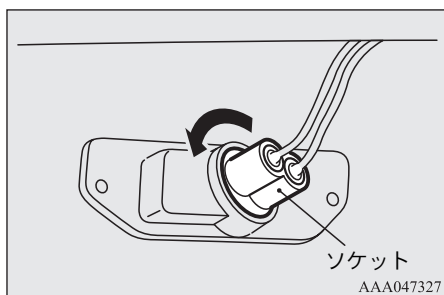
◆ 番号灯

J01402600502

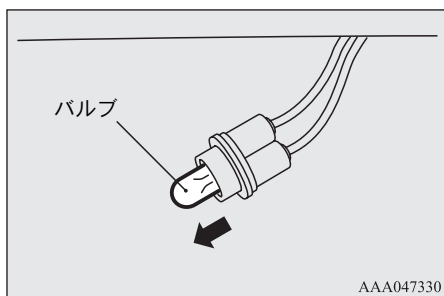
1. ネジ（2箇所）を外し、ランプ本体を取り外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



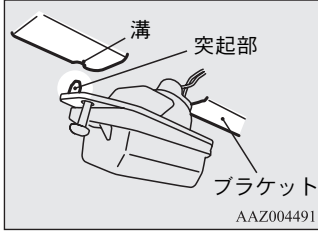
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

📖 アドバイス

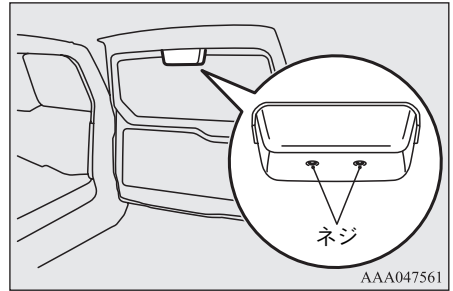
- ランプ本体を取り付けるときは、突起部を車両左側に向け、ブラケットの溝に合わせて取り付けてください。



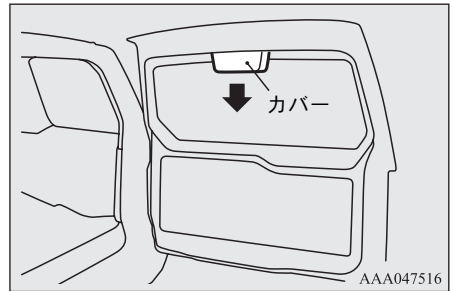
◆ ハイマウントストップランプ

J01402700460

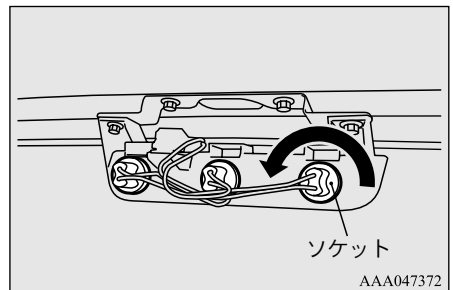
1. ネジ (2箇所) を外します。



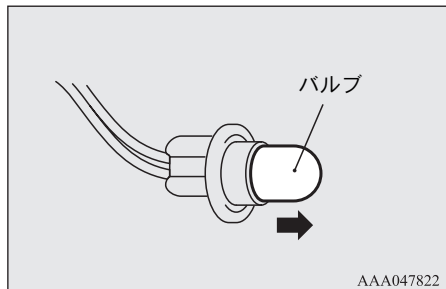
2. カバーの両端を押しながら、下に引いて外します。



3. ソケットを反時計回りに回して外します。



4. ソケットからバルブを引き抜きます。

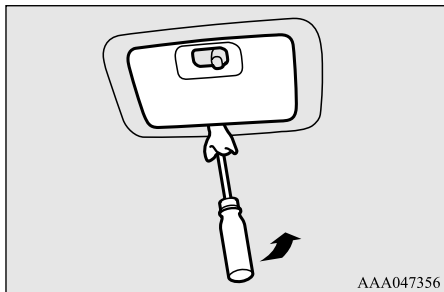


5. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

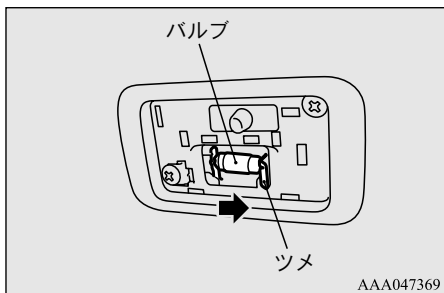
◆ ルームランプ

J01403500032

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠きに差し込んで、こじて外します。



2. ツメを押しながらバルブを取り外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

